

# Connect Pro+

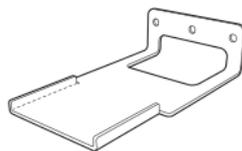
## レシーバー

### クイックスタートガイド

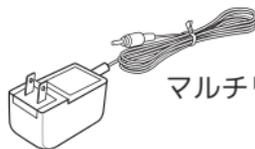
### パッケージ内容



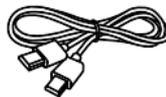
レシーバー



壁掛けキット



マルチリージョン対応プラグ付き  
ACアダプター (3m)



HDMIケーブル (1.5m)



ケーブルオーガナイザー  
x2



保証書



クイック  
スタートガイド

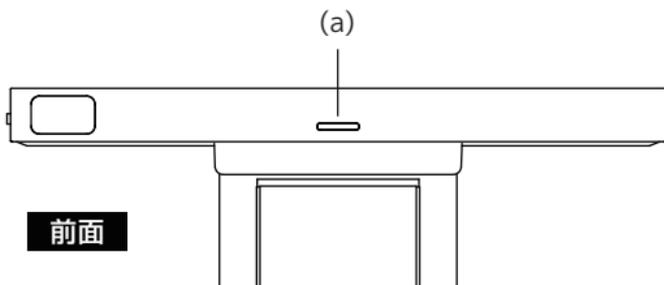


安全と保証に  
関するお知らせ



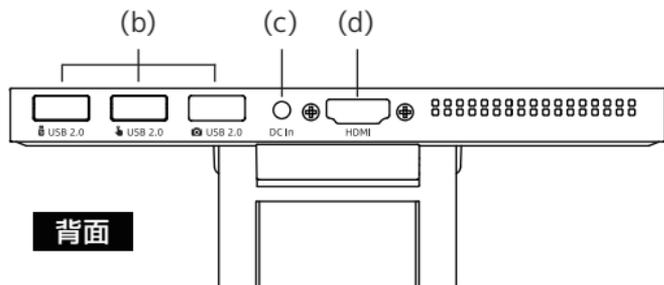
Scan for Multi-language Guide.  
Kurzanleitung auf Deutsch scannen.  
Guía rápida de escaneo en español  
Scanner le guide rapide en français  
Scansione la guida rapida in italiano.  
Zeskanuj skróconą instrukcję w języku polskim.  
Escanee o guia rápido em português.  
日本語のクイックガイドを入手。  
掃描以獲取中文使用說明書。

# 各部名称



(a) LEDインジケータ

電源オン (スタンバイ)		青点灯
ボタンとの ペアリング 時	ペアリング中	紫点滅
	ペアリング成功	紫点灯
	ペアリングエラー	赤点滅
画面 共有時	接続済み (待機中)	青点滅
	画面共有時	紫点灯
	画面共有エラー	赤点灯

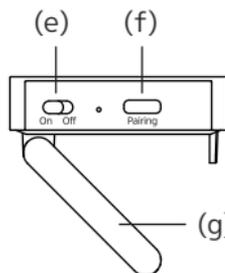


(b) USB-A 2.0 x3

(カメラ、タッチスクリーン、マウスやキーボードなどのアクセサリ接続用)

(c) DC入力

(d) HDMI出力



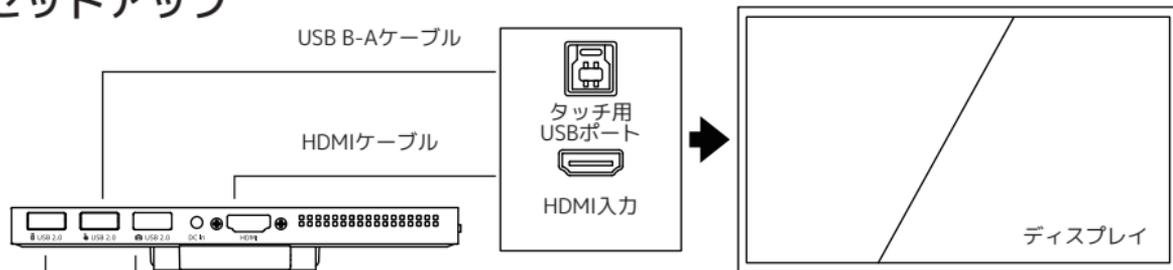
側面

(e) 電源スイッチ

(f) USB-Cポート  
(ペアリング用)

(g) マウントクリップ  
(内蔵マグネット付き)

# セットアップ



動作確認済み  
カメラについては、  
公式ウェブサイト  
をご覧ください。

## 重要な注意事項：

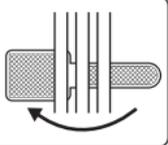
- USB機器を接続する前に、Connect Pro+ レシーバーの電源を入れてください。
- マイクやスピーカーを搭載した機器を複数接続した場合、最後に接続された機器のマイク/スピーカーが使用されます。
- レシーバーを再起動した後は、すべての機器を一度抜き差ししてください。



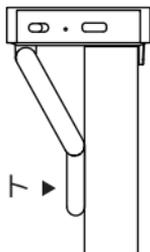
## マウントクリップ

内蔵クリップとマグネット  
で簡単にディスプレイへ  
取り付け。

ケーブルオー  
ガナイザーで  
配線を整理

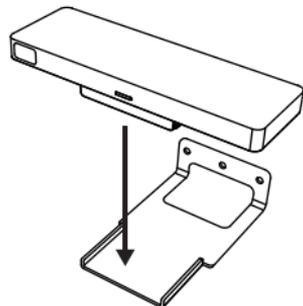


マグネット ▶



## 壁掛けに関して

壁掛け用ブラケットを  
ネジで固定し、Connect  
Pro Plus レシーバーを内  
蔵マグネットで取り付け  
ます。



# アクティベーション

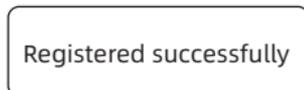
初回起動時に「製品が登録されていません」と表示されます。案内に従ってWi-Fi設定を開き、ネットワークに接続してアクティベーションを行ってください。



インターネットに接続すると「製品をアクティベーション中です」と表示されます。



完了すると「登録が完了しました。」と表示されます。



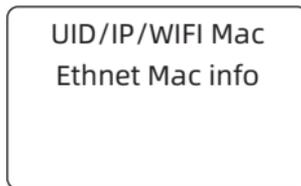
# アクティベーション状態を確認する方法

有効化されていない場合、再起動後に「製品未登録」が再表示されます。

確認方法: 設定 > さらに見る > 一般 > ソフトウェアバージョン



登録済み



未登録



\* 「◀」を押して設定ページに戻ります。

# Connect Pro

Connect Proを使えば、どのディスプレイでもAirPlay、Miracast、Chromecast、Innex Connect Proボタン、またはConnect Proソフトウェアを通じてワイヤレスでコンテンツを表示できます。Connect Proソフトウェアを使用すれば、レシーバーに接続されたカメラもワイヤレスで使用することができます。



Connect Proボタン



Airplay



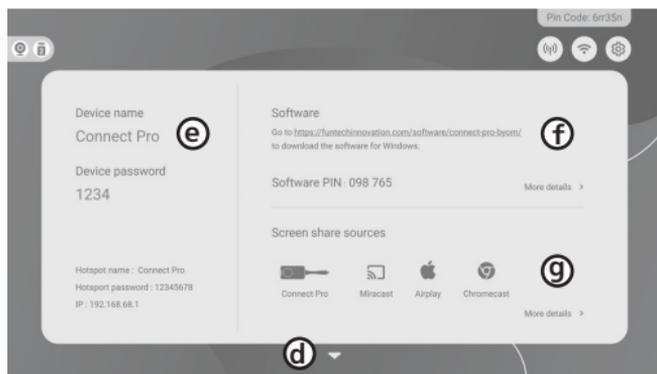
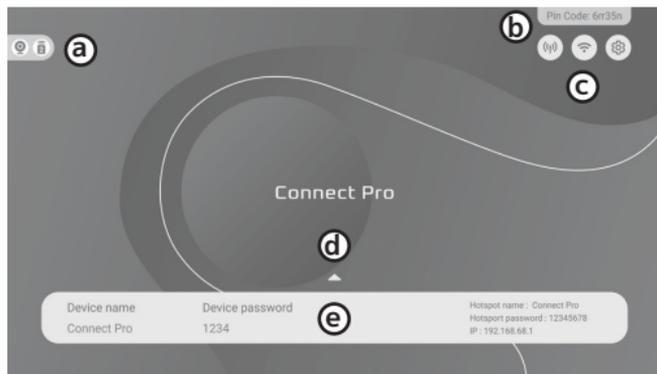
Miracast



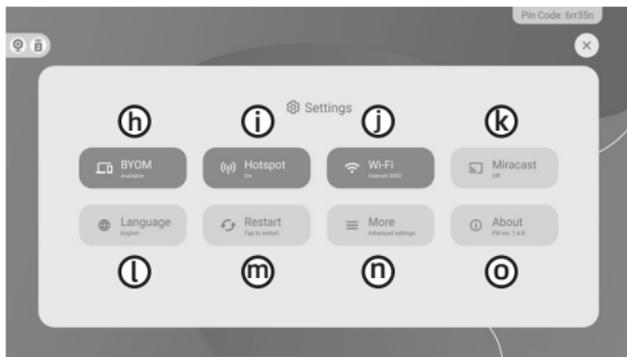
Chromecast



Connect Proソフトウェア



	項目	説明
a	BYOMアイコン	BYOMが使用可能な場合に 표시됩니다。アイコンが表示されない場合は以下を確認してください： - インターネット接続済みおよびアクティブモード済み - カメラがディスプレイに接続されている - 設定でモデレーターモードが有効
	デバイスアイコン	画面共有の準備ができていないデバイス数を表示します。詳細を確認するにはタップしてください。
b	PINコード	このPINコードをConnect Proソフトに入力してディスプレイに接続し、画面共有を開始します。
c	Hotspot	Hotspotの状態を表示し、Hotspotページへのリンクを提供します。
	Wi-Fi	Wi-Fiの状態を表示します。アイコンをタップしてWi-Fi設定を開きます。
	設定	アイコンをタップして設定を開きます。
d	矢印	タップして情報ページを展開または折りたたみます。
e	情報	デバイス名や画面共有に必要なパスワードなど、基本的なデバイス情報を表示します。
f	ソフトウェア	Windows用ソフトのダウンロードリンクとクイックガイドへのアクセスを表示しています。
g	ソース情報	画面共有のソースオプションを表示します。「詳細」をタップすると、簡単な使用ガイドが表示されます。



	項目	説明	
	h	BYOM	カメラやマイク、スピーカーの情報を表示します。
	i	Hotspot	名称、パスワード、APチャンネルなどの高度なHotspotに関する設定を行います。
	j	Wi-Fi	接続するWi-Fiネットワークを検索し、インターネットの詳細を確認することができます。
	k	Miracast	Miracastの有効/無効の切り替え、解像度の調整を行うことができます。
	l	言語	Connect Proのインターフェースの言語を設定します。
	m	再起動	タップしてConnect Proを再起動します。
	n	さらに見る	デバイス名、パスワード、PINコードなどの詳細設定を行うことができます。
	o	機器情報	詳細なデバイス情報（MACアドレス、壁紙設定、復元オプションを含む）を表示します。

## Wi-Fi & Hotspot設定

### 1. 5GHz ネットワークに接続

受信機のHotspotチャンネルは現在のネットワークに従います。ホットスポット設定画面には「チャンネル XXX 自動割当」のようなメッセージが表示されます。



### DFS チャンネルに関して

DFS (Dynamic Frequency Selection) チャンネルは、レーダー検出により一時的に利用できなくなり、デバイスが自動的にチャンネルを切り替えることがあります。

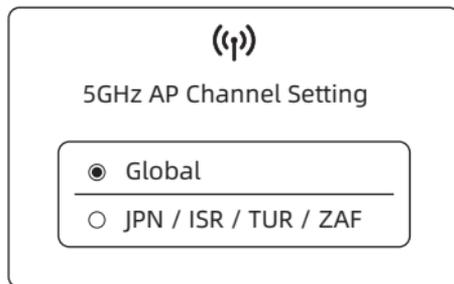
DFS チャンネルを使用すると、Connect Pro ボタンが赤く点灯したり、検出できなくなる場合があります。

不安定な場合は、非 DFS チャンネル（例: 36, 40, 44, 48, 149, 153, 157, 165）に切り替えることを推奨します。

## 2. インターネットなしで 2.4GHz ネットワークまたはホットスポットに接続する

Connect Pro+ レシーバーは、2.4 GHz ネットワークに接続されている場合、またはネットワークに接続されていない場合、5 GHz 帯でホットスポットを動作させます。

日本国内での仕様の際はホットスポット設定ページで、5GHz AP チャンネル設定用に JPN / ISR / TUR / ZAF を選択してください。



5GHz AP チャンネル設定	
グローバル	36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 149, 153, 157, 161, 165
日本/イスラエル/ トルコ/南アフリカ	36/40, 44, 48, 5

## 画面共有

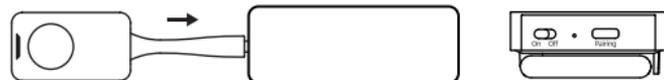
### ネットワーク状態

\*Connect Pro+ ボタンでの使用を除き、使用前に、お使いのデバイスが同じネットワーク上にある、または、Connect Pro+ Hotspotに接続されていることを確認してください。

共有方法	Wi-Fi	Hotspot	Miracast
Connect Proボタン	インターネット接続は不要	オン	オフ
Airplay	どちらかがオン		OFF
Miracast	オン	“オフ”	“オン”
Chromecast	どちらかがオン		オフ
Connect Proソフトウェア	どちらかがオン		オフ

### Connect Proボタン \*地域により別売り

Connect Pro+ レシーバーの電源を入れ、ディスプレイに接続してください。Connect Pro ボタンをレシーバーの USB-C ポートに差し込むと自動的にペアリングが開始されます。画面の指示に従ってセットアップを完了してください。



Connect Pro ボタンをフル機能の USB-C ノート PC ポートに差し込みます。ステータスランプが白くゆっくり点滅したらボタンを押して開始します。もう一度押すと画面共有が停止します。



## Airplay

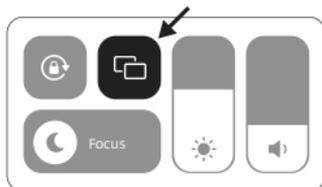
macOS

デスクトップ右上のアイコンをクリックしてコントロールセンターを開きます。「画面ミラーリング」を選択し、デバイスを選んでパスワードを入力すると開始します。



iOS

コントロールセンターを開き、「画面ミラーリング」をタップし、デバイスを選んでパスワードを入力して開始します。



## Miracast

使用前にホットスポットをオフにし、Wi-Fi をオンにし、設定で Miracast を有効にして、デバイスが同じネットワークにあることを確認してください。

Windows

「Windows キー + K」を押してクイックアクションメニューを開き、デバイスを選んで表示されるパスワードを入力します。



Android

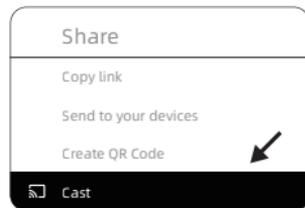
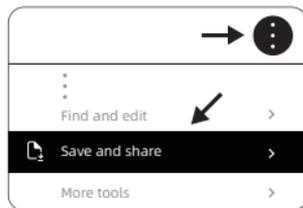
下にスワイプして設定を開き、「スクリーンキャスト」を有効にします。デバイスを選んでパスワードを入力します。一部の Android 携帯は Chromecast を使用します。



## Chromecast

Chrome ブラウザー (Windows PC / Mac / Chromebook)

右上の「その他」アイコンをクリックし、「保存して共有」>「キャスト」を選択し、Chromecast デバイスを選びます。「ソース」を使って特定のタブまたは画面全体をキャストできます。



# Connect Proソフトウェア

公式サイトからダウンロードするにはQRコードをスキャンしてください



## デバイスの検索方法

### 1. デバイス名

デバイス一覧が表示されたら、接続したいデバイスを選び「接続」をクリックします。

### 2. PINコード

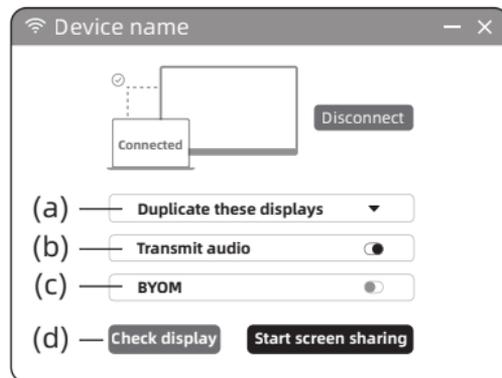
ホーム画面に表示されたPINコードを入力し、「接続」をクリックします。

### 3. IPアドレス レシーバーのHotspotへの接続が必要です\*

ホーム画面に表示されたIPアドレスを入力し、「接続」をクリックします。



(a) 共有モード	画面を複製、拡張、またはアプリウィンドウを共有
(b) 音声出力	デバイスの音声をディスプレイに出力するかを選択
(c) BYOM (初期設定: OFF)	レシーバーに接続されたカメラ、マイク、スピーカーを使用
(d)ディスプレイを確認	共有する前に、正しいデバイスが接続されているか確認



## BYOM

ビデオ会議ソフトウェアで、カメラとマイクに「innexCam」、スピーカーに「innexAudio」を選択することで、ワイヤレスで使用できます。

  : innexCam

 : innexAudio

# 製品仕様

通信距離	～ 約10m
画面共有オプション	Connect Proボタン / Airplay / Miracast / Chromecast / Connect Proソフトウェア

## 画面共有解像度

Connect Proボタン	3840x2160 @30Hz; 1920x1080 @60Hz
Airplay	～ 1920x1080 @60Hz (ネットワーク環境に依存)
Miracast	1920x1080 @30Hz
Chromecast	～ 1920x1080 @30Hz (ネットワーク環境に依存)
Connect Proソフトウェア	～ 1920x1080 @30Hz (ネットワーク環境に依存)

## BYOMカメラ解像度

Connect Proソフトウェア	～ 1920x1080 (ネットワーク環境に依存)
-------------------	---------------------------

## システム要件

Connect Proボタン	Windows 11以降 (Intel Core) MacOS – 最新バージョン推奨
Airplay	iOS / MacOS – 最新バージョン推奨
Miracast	Windows 11以降 (Miracast対応GPUおよびドライバー搭載) Android 4.2以降 (デバイス依存)
Chromecast	Google Cast対応; Chromecast内蔵対応 サポートOS / アプリ: Android 7.0以降 / iOS 14.0以降 / Windows 10以降 / macOS 11以降 / 最新のChromeOS / 最新のChromeブラウザ
Connect Proソフトウェア	Windows 11以降 CPU: Intel Core i5以上

## ネットワーク

ネットワーク遅延	< 10ms
セキュリティ	WPA2-PSK認証および128ビットAES暗号化に対応

## レシーバー

Wi-Fi	2.4GHz/5GHz, IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
I/Oポート	USB-A 2.0 x3
	USB-C (ペアリング用) x1
	HDMI出力 x1
	DC入力 x1
スイッチ	電源ON/OFFスイッチ
電源	12V 1.5A
保管温度	-10°C - 60°C
動作温度	0°C - 40°C
保管湿度	≤ 80%
動作湿度	≤ 80%
外形寸法	160 x 50 x 21.5mm
質量	125g

## 同梱品

Connect Pro+ レシーバー、3m ACアダプター (マルチリージョン対応プラグ付)、1.5m HDMIケーブル、壁掛けキット、ケーブルオーガナイザー x2、クイックスタートガイド、保証書、安全と保証に関するお知らせ
--

## 取得済み認証

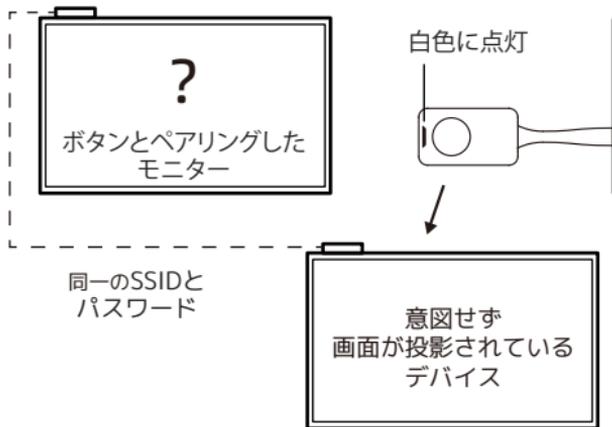
CE/FCC/ISED/NCC/MIC/KCC/MCMC/Anatel
-------------------------------------

# トラブルシューティング

1. キャストデバイスのランプは白く点灯（投映中）していますが、なぜ画面に何も表示されないのですか？

## 原因：

本機は接続情報の名称とパスワードを記憶するため、\*\*信号の届く範囲（10m以内）\*\*に同一設定の機器が複数あると、誤って別のデバイスに投映される原因となります。

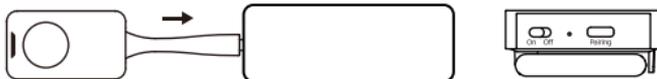


## 解決策：

半径10m以内に複数の Connect Pro+ が設置されている場合は、セットアップ時にそれぞれ個別のネットワーク名とパスワードを設定することを強く推奨します。



ネットワーク名やパスワードを変更した後は、再度ペアリングを行ってください。



## 2. 投映中に映像や音声の遅延（ラグ）が発生するのはなぜですか？

### 原因：

再生時の遅延は、通常ネットワーク環境に依存します。Connect Pro+ を社内ネットワークに接続している場合、他の機器と帯域やチャンネルを共有するため、帯域不足による遅延が発生しやすくなります。

### 解決策：

1. ホットスポットを使用：Wi-Fi接続をオフにし、本機のホットスポットに直接接続してお試しください。
2. チャンネルの切り替え：設定画面で「日本」を選択してください。これにより、一般的なネットワークとは異なる、混雑の少ないチャンネルへ切り替えることができます。

#### (p) 5GHz APチャンネル設定

- グローバル
- 日本

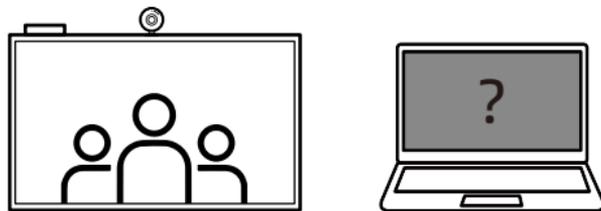
### 推奨環境：

遅延（レイテンシ）10ms未満を推奨します。

## 3. カメラを起動した際、画面が緑色になる（グリーンバックになる）のはなぜですか？

### 原因：

システム上でのプレビューは正常に表示されるのに、アプリ等でカメラを呼び出した際に画面が緑色になる場合は、そのエリアのネットワーク帯域不足を意味します。



Connect Pro+ のプレビューは表示されますが、PC側のカメラ画面は緑色になります。

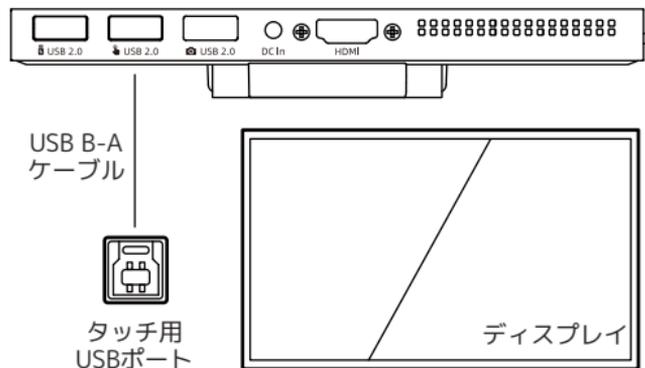
### 解決策：

前項（遅延に関するトラブルシューティング）を参照し、混雑の少ないチャンネルへの切り替えやホットスポットの使用をお試しください。

#### 4. Connect Pro+ とディスプレイの間にタッチパネル用のケーブルを接続しましたが、タッチ操作ができないのはなぜですか？

##### 原因：

1. ご使用のモニターがタッチパネル対応であることをご確認ください。また、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。



2. 本製品はほとんどのタッチ方式に対応していますが、メーカーごとの仕様の違いにより、一部の機種で互換性がない場合があります。

#### 5. パソコンに Connect Pro ボタンを挿入してからかなり時間が経過しましたが、赤色に点滅したままで投映できないのはなぜですか？

##### 原因と解決策：

1. 給電不足の影響：多くのUSB-Cポートを搭載しているPCやバッテリー残量が少ない場合、PCに電源アダプターを接続してください。これは、PC側が Connect Pro ボタンを給電デバイスと誤認識し、認識に時間がかかるのを防ぐためです。

##### 2. ホットスポットの確認：

Connect Pro ボタンと Connect Pro+ はホットスポット経由で通信します。Connect Pro+ のホットスポットが正しく有効になっており、常にオンの状態であることを確認してください。

## 規制およびサービスに関する情報

本書に記載された製品には、それぞれの特許、著作権、意匠権、登録意匠および商標法により保護されている事項が含まれています。その他の商標はすべて各所有者に帰属します。本書はオンラインで配布されます。本書は製品を使用する機関内での利用に限り複製することができます。ご所属機関外での使用については、当社の事前許可なく本書の一部を複製、送信、検索システムへの保存、または他言語への翻訳を行うことはできません。本書の内容は著作権法により保護されています。本書の作成にあたり細心の注意を払っておりますが、当社は本書に含まれる情報の利用により生じたいかなる誤りや脱漏、または損害について一切の責任を負いません。

## Compliance

### United States of America

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense. Do not make any changes or modifications to the equipment.

5.15 to 5.25 GHz band, UNII devices will be restricted to indoor operations to reduce any potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite System (MSS) operations. RF Radiation Exposure Statement Caution : This Transmitter must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons.

## Warning

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy. If not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try and correct the interference by one or more of the following measures :

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the distance between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help
- Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC ID : 2AC23-WXT26
RF model No. : WXT26M2601B
FCC ID : 2AC23-DCT12
RF model No. : DCT12R2511

## Europe

We declare under our Sole responsibility that the Connect conforms to the essential requirements of European Union Directives 2014/53/EU Radio Equipment Directive (RED), 2014/30/EU Electromagnetic Compatibility Directive, 2014/35/EU Low Voltage Directive and 2011/65/EU Restriction of Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment.



These devices comply with RF specifications when the device is used at 20 cm from your body

[Image of a mobile phone]											
AT	BE	BG	CY	CZ	DK	EE	ES	FI	FR	GR	IE
IT	LU	NL	PL	PT	RO	SK	SI	UK	US		
CH	CX	HK	JP	KR	US	CA	MX				
AE											

This device is restricted to indoor use when operating in the 5150-5350MHz frequency range in all EU/EFTA member states and Turkey.

## United Kingdom

We declare under our sole responsibility that the Connect conforms to the essential UKCA requirements 2016 No : 1091. Electromagnetic Compatibility regulations 2016, 2016 No : 1101 Electrical Equipment Safety Regulation 2016, 2017 No : 1206 The Radio Equipment Regulation 2017, and UK SI 2016 No : 1091, RoHS Restriction of the use of certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Regulations 2012 - UK SI 2012 No : 3032.



### Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE)

For more information concerning the correct disposal of these products, please contact your reseller.



Vous êtes responsable de remettre tous les appareils électriques et électroniques usagés à des points de collecte correspondants.

Pour en savoir plus :  
[www.quefairedesdechets.fr](http://www.quefairedesdechets.fr)

FR

## 日本

- 本製品は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。
- 本製品は、絶対に改造して使用しないでください。改造した機器を使用すると電波法に抵触します。  
本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証は本製品の本体内で確認できます。本製品のねじを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触するため、絶対に使用しないでください。

## 5GHz 帯ご使用上の注意

- 本製品の無線LAN (Wi-Fi) 機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント / 陸上移動中継局と通信する場合を除く。) 本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

IEEE802.11 a/n/ac/ax			
J52	W52	W53	W56

J52 (5.2GHz帯 / 34, 38, 42, 46ch)

W52 (5.2GHz帯 /36, 40, 44, 48ch)

W53 (5.3GHz帯 / 52, 56, 60, 64ch)

W56 (5.6GHz帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)



## FAQ

製品に関するご質問は、以下のページをご参照ください。  
[www.funtechnnovation.com/faq](http://www.funtechnnovation.com/faq)